

平針学区 避難行動 マップ

保存版

あなたの一時的集合場所



この避難行動マップをもとに“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておこう!!

天白区のマスコットキャラクター「かぼっち」

気を付けて!!

- 狭い道**
付近の家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性がある。避難の時に注意が必要!
- 古いブロック塀・石垣・灯籠など**
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない。
- 液状化**
過去に川や沼地があった場所などでは、液状化が想定されるため、なるべく避けて避難する。
- 電線**
切れた電線は停電時でも感電の危険性があるため絶対に近づかない。

AED 設置場所一覧

施設名	利用可能時間(定休日等)
1 メディコ平針	9:00~17:00
2 並木病院	9:00~17:00
3 日産プリンス名古屋販売カーナビア平針	10:00~18:30 (休:水(不定休有り))
4 名古屋市農業センター	9:00~16:30(休:月)
5 針名神社	9:00~16:00
6 名古屋銀行 平針支店	8:00~21:00
7 宇井こどもクリニック	月~金:9:00~12:00、 16:00~19:00 土:9:00~12:00(休:日祝)
8 チューリップ薬局 平針店	月~金:9:00~19:00、 土:9:00~14:00(休:日祝)
9 名古屋記念病院	8:00~20:00
10 天白信用農協 平針支店	9:00~15:00(休:土日祝)
11 平針新公民館	常時利用可能
12 名古屋市立平針小学校	8:15~16:45(休:土日お盆)
13 名古屋市立平針中学校	8:15~16:45(休:お盆)
14 平針地域スポーツセンター	月~土:18:00~21:00 日:13:00~17:00 (木祝学校使用日不可)
15 KTM名古屋	10:30~19:00(休:火、第1・3水)
16 デイサービスセンター ぎらり	8:00~19:00(休:日)
17 ショートステイケア リッツ天白	8:30~17:30

注:年末年始、臨時休業等で利用できないときがあります。



学区北部のこのエリアは、細い道が多いため、避難の時には注意!(細い道をピンク線で示しています。)



街頭消火器
細い道が多いエリアには、街頭消火器が設置されています。火災が発生した時は、危険のない範囲で初期消火を行いましょ。

ピンク色等で塗られている場所は、天白川が氾濫した時に浸水する可能性があります。

洪水(天白川が氾濫した場合)想定浸水深	
3.0~5.0m未満	0.3~0.5m未満
1.0~3.0m未満	0.3m未満
0.5~1.0m未満	



繁盛川
大雨の時には、洪水・内水氾濫に注意が必要!



WC 震災用マンホール



地下式給水栓



ブロック塀
ひび割れがあるブロック塀、古いブロック塀は大きな地震で倒壊する危険性があるため、近づかない。

地域防災協力事業所一覧

事業所名	協力内容
A 介護老人保健施設 メディコ平針	土地・建物(仮設避難所:指定避難所が開設されるまでの間)、資器材(車椅子・寝具・毛布等)の提供
B 村瀬聖治資材置場	救助資器材(発電機、チルローラー、チェーンソー、油圧ジャッキ、パール等工具類)の提供
C 名古屋スバル自動車株式会社 平針店	資器材の提供(消火器、ジャッキ、パール、その他の工具)、一時避難場所の提供(駐車場)
D 並木病院	資器材の提供(消火器・車椅子・寝具・毛布等)、AEDの貸出、一時避難場所(駐車場)の提供、その他可能な範囲における支援協力
E 株式会社 マルワ	資器材(消火器、電動フォークリフト1台、ハンドリフト5台、紙、その他工具)の提供、その他可能な範囲における支援協力
F 名古屋記念病院	資器材の提供(消火器、折りたたみ担架、机、椅子)、AEDの貸出、備蓄物品(自院で使用しない場合に限り)の提供

役に立つもの

- 災害時帰宅支援ステーション(コンビニなど)**
このステッカーのある店舗は、公共交通機関が不通となったとき、徒歩帰宅する人々を支援する店舗で、トイレや避難スペースの提供などの支援協力してくれます。
- 地域防災協力事業所**
災害時に地域に対して支援協力してくれます。
- 公衆電話**
公衆電話は停電時でも使用できます。また、災害時には状況に応じて無料で、優先的につながります。

特性と災害リスク

南海トラフ巨大地震が発生した場合、平針学区では**震度6弱～6強**の強い揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。この時にケガをしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。学区内では、液状化の可能性が高い場所がありますので、避難時には注意しましょう。

また**天白川や繁盛川の洪水**、内水氾濫による浸水も想定されています。河川の水位など普段から情報収集できるように確認しておくとともに避難情報の発令等があった場合などに速やかに行動できるように準備しておきましょう。

地震時の行動

揺れた！

- 身の安全の確保
 - 頭を守り揺れがおさまるまで待つ
 - 家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意
 - 安全に消せる場合は火を消す

机がない時は、クッション、かばんなどで頭を守りましょう。

自宅の耐震化や家具の転倒防止を進めておきましょう。

揺れがおさまった！！

- 火の元の確認、出火したら初期消火
- 怪我をしないように底の厚い靴やスリッパを履き、出入口の確保
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- テレビ、ラジオ、スマホなどから正しい情報の入手
- 非常持出品の準備

◆避難先へ安全に避難するための6つのポイント

- ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る！
- 近所への声かけ！
- 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！
- 原則徒歩で！（洗滞抑制・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない）
- 木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて！
- 消火・人命救助の手伝いを！

◆自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活（在宅避難）を！

避難所は多数の方が避難生活を送るため、大きな負担がかかることが想定されます。倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を送る「在宅避難」を考えましょう。その際は下記のことを心掛けます。

- 在宅避難している高齢者や障がいのある方などの声掛け
- 最寄りの避難所で避難者登録
- 周囲で食料や物資を分け合う

避難が必要

- 指定緊急避難場所へ避難**
- 災害の危険あり（特に避難情報（避難指示等）の発令時）、自宅には命が守れない場合は、災害の種類に応じた指定緊急避難場所のある施設に避難してください。
 - 避難指示などによらず、自主的に避難する場合には、事前に区役所へ連絡し、避難先などの確認を受けてください。

避難所運営の基本的な考え方

避難所は、避難者による「自主運営」です。災害救助地区本部委員や避難者など全員で協力して運営にあたりましょう。

天白区災害対策本部（天白区役所）

TEL: 803-1111 (代表) 807-3811~5 (ダイヤルイン)
 FAX: 801-0826

在宅避難

在宅避難時の食料について

避難所外避難者（在宅避難者、車中泊避難者、テント泊避難者等）について、避難者登録をした後、原則避難所で食料及び物資を配分します。

分散避難も考えましょう

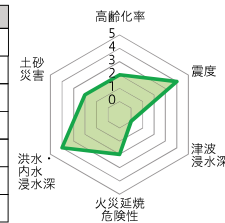
近隣の安全な地域にお住まいの親戚などと、災害時に避難ができるか、事前に相談しておくことと安心です。大規模災害では、避難所の収容人数が不足することも懸念されるため、付近のホテルや旅館への避難も検討しましょう。

在宅避難のために

在宅避難では、水・食料や非常用トイレの準備・備蓄が欠かせません。また昭和56年以前の建物は耐震診断を行い、地震後には被災建築物応急危険度判定で安全性を調べてください。まず手始めに、家具の転倒防止をして安全な居場所を確保しましょう。

リスクリーダーチャート【地域特性の把握】

	値	5段階
高齢化率	19.70%	2
震度	6強	4
津波浸水深	0m	0
火災延焼危険性	100棟～500棟未満	2
洪水・内水浸水深	3.0m～5.0m未満	4
土砂災害	警戒区域に人家10件未満	2
合計		14



→合計14点は天白区内17学区中10番目に高い値

風水害時の行動

台風が発生した!!【情報収集】

- テレビ、ラジオ、スマホなどから台風の大きさ・強さや川の水位などの情報を入手

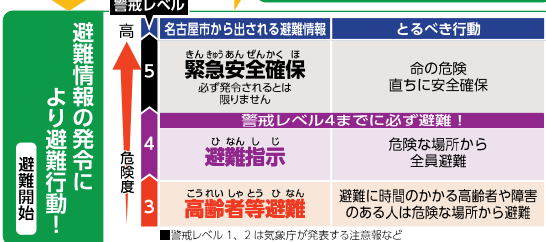
台風や大雨が来る!!【準備】

- ハザードマップで指定緊急避難場所、指定避難所や浸水想定区域等の確認
- 家族との連絡方法の確認
- 家の周りの飛ばされやすいもの、流されやすいものの片付け

雨足が強くなってきた!【避難判断】

- 情報収集を続けて、避難開始時期を判断
 - 50cm以上の浸水時は避難に危険が伴うため注意
 - 自主的に避難する場合には、事前に区役所へ連絡
- 洪水・内水は氾濫の想定浸水深より下の階にいる
 ●堤防の近くで、安全な建物*にいない *鉄筋コンクリート造
 ●土砂災害警戒区域などにいる

一つ以上該当する → 該当しない → 自宅などにとどまる（在宅避難）



指定避難所運営マニュアル

避難所を開設し運営するための手引書です。

気象情報・土砂災害の情報を確認

気象庁HP

NHKニュース 気象・災害

避難情報の発令状況の確認

名古屋市公安局HP

災害用伝言ダイヤル 171

災害の発生時に提供が開始される声の伝言板です。[171]をダイヤルし利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

なごやハザードマップ 防災ガイドブック

自宅付近の災害リスクを確認

名古屋市防災アプリ

位置情報と連携した災害リスク・避難先などを確認できます。

ダウンロードはこちらから

Android端末 iOS端末

避難所の開設状況を確認

災害時最寄りの避難所開設情報

地区防災カルテ

防災に関連する情報を学区ごとにまとめたものです。

〈一人では逃げられない方への対応〉

日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなでいち早く避難行動がとれるように協力しましょう！

移動が難しい方

例えばこんな方
 普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。

対応方法

- 複数で手伝う
- 身近にあるものを利用する

土砂災害からの避難

大雨や地震などをきっかけとして、がけ崩れや地滑りなどの土砂災害が発生することがあります。土砂災害には前兆現象がある場合もあります。土砂災害警戒区域では、特に危険性が大きいので、いざという時に適切な避難行動がとれるように考えておきましょう。

- 土砂災害の避難情報が発表された学区では、土砂災害警戒区域の区域外に避難する。（土砂災害警戒区域は、ハザードマップ等で確認！）



《土砂災害警戒情報》
 大雨警報（土砂災害）発表後に土砂災害の危険がさらに高まった場合に、市町村単位で、都道府県と気象庁が合同で発表

《大雨警報（土砂災害）の危険度分布》
 大雨による土砂災害の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域（メッシュ）ごとに5段階に色分けして示す情報（気象庁ホームページで確認できます）

- 《土砂災害の主な前兆現象》
- 斜面にひび割れや膨らみなどの変形が見られるとき
 - 斜面から水が噴き出てくるとき
 - 水が濁ったり、水量が急に減るとき
 - 木立が不揃いになったり、井戸の水が濁るとき
 - 斜面から石ころが落ちるとき